

深い泉

The Deep Fountain

+ 幸せを求めるあなたへ

これもまた、過ぎていく

This, too, shall pass away.



激しい風に踊る人生 天候も天候なのですが、それこそ連日、激しい風が吹いています。2007年度に診療を受けたガン患者の数が493,584人で、2.26倍に増加したという便り、フィンランド

に続いて世界で韓国が2位で毎日38人ずつ自殺するという統計、病院にいる精神病患者の他に、社会生活をする精神病患者の数が2,135,390人で、軍隊だけで毎年精神疾患で病気除隊する人が300人を越えるので、前方での手榴弾事故は、ただ開始であるだけという記事にも背筋が寒くなって、320万人のギャンブル中毒者、300万人のアルコール中毒者の家庭が崩れているという便り、10年ぶりの構造調整と減員、津波でアメリカだけで今年191万人を減員するという便りなども、私たちの心をより一層縮ませます。それに加えて、アメリカでは、ロト当選で人生の大当たりをした人々の90%が、家庭が崩れて、個人が破綻したという統計も出てきました。消えていくものために生き、生活できなくて揺れ動くこの時、私たちには、はたしてどんな人生の知恵が必要なのでしょうか。ユダヤ教の経典注釈書であるミドゥラシュ(Midrash)を見れば「ダビデの指輪」という文章が出てきます。ダビデ王がある日、宮中の細工師を呼んで話しました。「私のために美しい指輪を一つだけ作りなさい。指輪にはこういう内容の句を彫りなさい。私が大きい勝利をおさめて喜びを抑制できなくて、高慢になろうとする時、それを調節できる句でなければならなくて、また、私が大きい絶望に陥って落ち込んでしまう時に、勇気と希望を与えられる句でなければならなくて、それで、細工師は、美しい指輪を作ったのですが、句のために大きい苦悶に陥りました。幾日か悩んで、ソロモン王子を訪ねて行って、どんな句を書き込むべきか助けを要請したのです。その時、ソロモン王子がこうい

う文を書きました。“This, too, shall pass away.”(これもまた過ぎ去るだろう)揺れない人生の知恵が切実に要求される現実です。

岩の上に立てた人生 人間に本当に必要なことは、揺れないこと、変わらないこと、なくなること、永遠にあることではないでしょうか。私たちの人生を変質しないようにすること、揺れないようにすること、永遠な幸せと安息をもたらすのが、まさしく聖書が話す真理で、その真理がまさしく福音なのです。聖書は、人間が解決できない3つの問題を解決するのが真理だと語っています。最初に、不完全な人間が永遠な神様、完全な神様に会う時、その人生も永遠な人生、神様とともにいる、倒すことができない人生になります。この神様に会うようにする道がまさに真理です(ヨハネの福音書14:6)。二つ目、人間は少しだけ自分の前に真実になれば、罪人だという事実を認めるしかありません。そして、その罪のために付いてくるしかない生年月日による運勢、運命と呪い、災いをふせぐ方法はありません。人間の運命と呪い、これを解決するのが真理です(ローマ人への手紙8:1~2)。三つ目、いくらないと否定しても、人間は自分自身だけが分かる、理解できない霊的問題があり、この霊的問題をもたらすサタン働きが確かにこの地に存在しています。この霊的問題とサタンの問題を解決するのが真理です(ヨハネの手紙第一3:8)。この問題を解決された方が、まさに「イエス・キリスト」なのです。だれでもこのイエス・キリストを信じて心に受け入れる時、その人生は永遠な岩の上に立てた人生になります。これが激しい風の人生から抜け出す唯一の道です。

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイの福音書11:28)

重職者伝道企画チーム

7分野戦略

あらかじめ準備された組織の力 日本金融分析家小田切尚登(オダギリ・ナオト)は、現在のグローバル金融危機に対する日本企業の最近の動きに対して「海外拡張の機会を得た」、ノムラホールディングスの渡辺賢一社長も、現在の金融危機は、これまで内需市場を通して資金力を堅く確かめた日本企業には「一世代に一度くるかどうかと思った機会」だと話しました。現在、日本企業は、海外企業の買収合併(M&A)および、引受規模を365%急上昇させて、海外企業ハンティングを楽しんでいるというニューズウィーク11月号の記事は、これまで未来を見通して準備してきた日本人の細かさに「危機は単に危険な機会であるだけ」という言葉を実感させます。

7つの現場を生かす伝道企画チーム 今は霊的な戦争中なので、戦略と戦術がかならず必要です。どんな戦略を準備しなければならないのでしょうか。長老を中心に、教会の中の組織、教会の外の組織、目に見えない組織を企画して、7つの分野を生かす弟子組織を準備すべきです。最初に教会学校です。胎児部は、親の教育のシステムを通して、親が恵みを受けて、その情緒が子どもに伝えられるように手助けしなければなりません。幼児、小学生部は、エリート教育の土台を用意して、中・高校生には、専門性の道を開いて、大学生と青年たちには専門性を越えた社会性をそろえるように企画しなければなりません。二つ目、教会内の各機関は集まって事をしなければなりません。三つ目、地域は教会の講壇で宣言されたみことばが一人一人に適應されるように手助けしなければなりません。資料も渡して、とても安らかに力も与えて、激励だけでもかまいません。四つ目、確かに黄金漁場、死角地帯、災い地帯があります。この現場をよく観察、分析して、適切な弟子を立てるのです。五つ目、偶像と暗やみに陥ってしまった文化圏を見ながら、技能宣教を通して、福音文化、伝道文化を回復しなければなりません。六つ目、疎外された専門担当者が、福音で力を得て、伝道と宣教の主役になるように、知識人の弟子を立てて助けるべきです。七つ目、長老は、一つの国を定めて、生涯、一つの国について研究と祈りをしながら、国別弟子組織、宣教組織を組んで、一般信徒を導かなければなりません。神様が、このことの主役として重職者(長老)を呼ばれたのです。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで復活されることによって、私のすべての問題を解決されたキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いてイエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になってくださり、私を導いて下さい。これから神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前でお祈りします。アーメン



神様の子ども五つの確信

救いの確信 イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって、救われました(ローマ 8:15~16, Iヨハネ 5:10~13)

祈りの答えの確信 神様の子どもは、イエス・キリストの名で何でも求めることができ、神様はみこころのままに、必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信 神様は聖霊であなただの中におられて、あなたのすべての人生を治めながら、導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

赦しの確信 あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を告白して悔い改めれば許してくださいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信 救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利できます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)



神様の子ども毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられ、導いてくださることを感謝いたします。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行く歩みごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊の導きを受ける人生にならせてください。

それで、私の人生を通して、イエス様がキリストであることが証しされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の人生の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利することができますように。

今でも私とともにおられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン



毎日、いつも、優先的に味わうべき3つのこと ただキリストだけ 神の国、聖霊の働き

2009 年度を準備しながら、私たちはまず、目の前で行われた今年の姿をよく振り返って、遠く未来を見通さなければなりません。今、答えがあるかないかで、あせったり、うろたえたりせずに、捨てることと握るべき新しいものを分別して、大きい答えがきた時、高慢になったり、変わることなく、むしろ答えの中で、より大きい神様の計画を分別しながら、福音が弱くならないように準備しなければなりません。

捨てるべき昔のこと 初代教会は、自分たちの昔の力、昔にした律法、制度、宗教、選民思想によっては、だれも教えてくれない霊的問題を解決して、人生の未来に対する答えを得ることはできないということを知りました。それで、ただ福音、ただ聖霊の満たしを通して神様がくださる新しい力を得ました。ですから、物質に対する欲も、律法的な体質も越えられたのです。今年が過ぎる前に、私たちは隠されている自分の動機、あせり、怠慢、不信仰、他のことを握る人間主義をみな捨てなければなりません。そして、私たちが本物の答えを受けようとするなら、初代教会が握ったことを握らなければなりません。

握らなければならない新しいこと 初代教会は、イエス様が約束された3つの契約を毎日、いつも、どんな時も優先的に握りました。どんなことに会っても、答えを受けるとしても、受けなくても「イエスはキリスト!」という事実をのがさなかったのです。ですから、自然に、その現場に神の国が臨むようになって、聖霊に満たされるみわざが起きるようになりました。答えがきても、失敗が来ても、この3つのことを握って味わうのが人生キャンプです。これが続けば、私の事業、現場、学業にみわざが起きるようになります。これを自分キャンプと言います。その人が教会に行けば、聖霊の働き、神様が備えておかれた門、神様がくださるみことば、現場に備えられた弟子、みことばの現場成就を体験する教会キャンプになります。この3つのことかなるようになる人が聖霊の導きを受ければ、必ず黄金漁場、死角地帯、災い地帯が見えて、また、行くようになっていきます。これが伝道キャンプです。この時、他の人が手助けしなくても一人で生き残って継続できる持続キャンプになります。この五つのキャンプの奥義を握らなければなりません。そして、さらに遠くを見通しながら、目に見える神様の答えと、目に見えずに答えの中に隠されている、より大きい計画を見て、かならず永遠な証拠と実が結ぶようになる伝道の時刻表の中に入らなければなりません。

ただ福音、ただ祈り なぜ私たちは、ただ福音だけをずっと強調しなければならぬのでしょうか。福音を知らない宗教人と、福音が薄いクリスチャンの人生の末路を見れば、すぐ知ることができます。ほとんど霊的問題に陥って、精神病や、アルコール中毒、崩れた人生の決算を残すようになります。ですから、私たちはずっと福音を強調しなければなりません。福音を悟って、福音の中にいつもいれば、過去は毎日、土台になって、現実は全部、答えになります。そして、未来は全部、今日の答えで保障されます。それで、この福音が全世界の隅々に毎日告白されて、宣べ伝えることができるように、世界福音化1千万弟子を立てて、小さいことであっても、それを最善、最大、最高になるようにしながら、この時代の伝道文化と時代の文化を作って、韓国教会と世界教会に仕えて、手伝えるように一緒に祈らなければならぬのです。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

15日(月)

勉強したくないのにどうすればよいのでしょうか(箴言 1:7)

人生自体が勉強です。勉強を通して重要なことをのがさない時間管理、必要なことをする物質管理、福音的な規律をそろえる人生管理を学ばなければなりません。基礎を堅くして、重要なインターンシップと勉強を楽しんで味わう方法を探さなければなりません。

16日(火)

祈りを知る弟子たち(使徒 12:1~15)

祈りはキリスト、神の国、聖霊の満たしを味わうことです。その時、どんな場合にも揺れない真の平安と問題、危機、かん難を越える答えを受けるようになります。それで、スケジュールの中で最も重要な時間が祈りを通して力を得る時間です。

17日(水)

墓に横たわったイエス・キリスト(ヨハネ 19:38~42)

イエス様の死が意味するのは、救いに対する神様の約束の成就です。そして、人間が解決できない霊的問題、罪の問題、神様を離れた問題を解決して死を死亡させる約束です。主は死の権威を打ち砕いたという証拠で復活されました。

18日(木)

神様の未来(使徒 1:1~11)

イエスがキリストと宣べ伝えられる時ごとに、神の国が臨んで、聖霊に満たされる働きが起きました。私だけの伝道を捜し出す時、神様の道しるべを見るようになって、私の最優先を祈りに置く時、神様の未来を見るようになります。

19日(金)

福音の当然性を見つけなさい(使徒 1:8)

いのち(キリスト)を味わう時、神の国、聖霊に満たされる働きが起きて、信徒に与えられた7つの祝福と未信者状態に勝つ権威を味わうようになります。そして、天国の背景、主のみ使い、サタンの権威がうち砕かれる御座の祝福を味わうようになります。

20日(土)

福音の必然性を見た人(使徒 3:1~12)

聖霊の内住、導き、満たしを味わってれば、私にかならず必要なこと、必要な現場、必要なこと(専門性、唯一性、時代的な計画)を見るようになります。福音の必然性を見つければ、あらゆることを回復できます。

週間メッセージ

産業宣教 全てのものを捨てて必ず握らなければならぬ初代教会の内容(使徒 1:12~14)

伝道学 葛藤(12)-教会内の分裂
(ローマ 16:17~20)

核心訓練 遠く見る伝道キャンプ
(ローマ 16:25-27)

聖日1部 新しいもののために昔のことを捨てるべき(使徒 1:1~11)

聖日2部 何を持っているのか(使徒 1:12~14)

メリークリスマス！



イラスト_ユン・スルギ

今日のように、雪が降り続く日は、貧しい人々の生活を心配するより先に、何か意味あることを発見したいと思うのだが、恐らく普通の人々の考えも同じであろう。韓国の人は非常に宗教的なので、宗教的な祝祭日を国の祝日に定めて、国民みんなと一緒に楽しむようにする。儒教の正月と中秋のお盆を通して祭日文化の極致が見られ、仏教の釈迦の誕生日を通して偶像文化の多様性を見せ、天道教の開天節(建国記念日)を通してシャーマニズム信仰の現実を見せている。キリスト教のクリスマスも、また、福音的な枠を越えて、貪欲と快楽の拝金主義によって暗やみ文化の温床になって久しい。アメリカの文化に乗って伝わってきたキリスト教は、自然にアメリカの文化の形態を帯びて教会にも座を占めている。わらぶきの家が主流であった時代にも、教会の塔がある建物は村の道しるべであり、この頃になっても、教会建築は現代美学を代表する建物として建てられている。

教会の鐘の塔から光を照らす星と、あふれるばかりにキラキラする光の点滅は、幼い時期のクリスマスの美しい思い出に満ちた情景であるが、今は商魂たくましいデパートや商店が、その価値まで奪っていくようだ。それでも、クリスマスが近づいてくれば、だれかにプレゼントをあげなければならないような気がして、また、思ってもいない人々から意味があるプレゼントが来るような、ひそかな期待もするのが事実だ。

貧しい田舎の村、雪が積もった広場で、雪遊びをした少年が、ぬれた靴を窓側に置いて寝てしまったのが、ちょうどクリスマス前日の夜だった。プレゼントをもらったことがない貧しさを幼い心にも知っていたが、それでも、明日がクリスマスであるから、なにかが起きたら良いと思いながら寝ついたのだ。朝にぬれた靴を探していた子どもが大きな声で母を呼んだ。「ママ！ここにだれかがボクにプレゼントをくれたよ！」サンタとかいうようなことにはまったく関心も持てない貧困の中にいた母親だったので、プレゼントをもらったという声が、ただ子どもがいた

ずらで言う声にしか聞こえなかったけれど、子どもがあまりにも大声を出したので、仕方なく子どもに近づいた母親だったが、明るい顔でその子を抱きしめた。「神様があなたのことをご存知で、とても尊いプレゼントをくださったのね！」と言いながら、彼の頬にキスをしてやった。母親も感激したそのプレゼントは、早朝に子どもが靴を探して見つけたのだが、寒さを避けて軒の下を探していたミソサザイが、子どもの靴で一夜を過ごして、そこに暖かい卵を一つ産み落として、ピョロロンとどこかに飛んで行ったのだった。

期待できない現実で、価値を見つけた少年のように、私たちはクリスマスの意味も知らないまま、ただ「メリークリスマス！」と言うが、クリスマスは呪いと災いのこの世にイエスがキリストとして来られた日だ。人間が期待できる最高の願いは人間の救いだ。ところで、その祝福を一気に成し遂げるために、キリストがこの世に来られたのだ。使い道なく放置された飼料おけに横たえられた赤ん坊イエスのように、あなたの心に、その方、すなわちイエス・キリストが留まるようにしたら、最高のプレゼントとして来られたその方の愛を、幼い少年のように味わうようになるのだ。この愛を受ける資格があるすべての人にこの言葉が必要なのだ。イエスはキリスト！メリークリスマス！ そうです、あなたにもメリークリスマス！

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

THE WAY 2017

ハワード・デンカー HOWARD DENKER
福音の情念が溶け込んだ
サクソフォン演奏アルバム

「イエスがキリストという契約なかで
真の福音の証人で生きていくこと、
これが私の生きる真の理由です」

- ・ 11才の時、サクソフォン演奏開始_
- 18才から24年間アメリカ海軍音楽行事で
活動_ブッシュ米前/現職大統領、
法王ヨハン・パウロ2世など世界の影響力ある
指導者の前で演奏
- ・ 「私の生きる中で」「目覚めよレムナント」
「イエスはキリスト」受け入れのメッセージなど
珠玉の契約賛美13曲収録

購入問合せ_代表電話韓国(02) 3662-7661、韓国核心集会

* 相談をお望みの方はこちらに連絡下さい